

京都人権啓発週間

取り戻す、必ず。

1970年代から1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で行方不明となり、

その後、北朝鮮の工作員による拉致の疑いが濃厚であると判明しました。

現在、日本政府が北朝鮮による拉致被害者として認定しているのは17人。

このうち帰国できたのは5人にとどまっています。

さらに、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない特定失踪者は871人にのぼります(2022年10月現在)

帰りを待ちわびるご家族の高齢化が進んでいます。お亡くなりになった方もいます。

日朝首脳会談から20年。いま再び、日本国民が心を一つにするときです。「必ず取り戻す」と――。

北朝鮮人権侵害問題啓発週間

12月10日から12月16日まで

北朝鮮による日本人拉致問題は、国民の生命と安全に関わる重大な人権問題です。

拉致問題の解決には、国民一人ひとりが関心と認識を深め「拉致は許さない」という強い意思を持つことが必要です。

~だれもが自分らしく生きることのできる社会をめざして~

京都府・京都人権啓発推進会議

(事務局・京都府人権啓発推進室)

人権情報
ポータルサイト **京都人権ナビ**

<https://kyoto-jinken.net> 京都人権ナビ 検索



みんな大切な
オンライン
京都府人権啓発キャラクター
「じんくん」